

2018年度版 詳説世界史講義 復習テスト

～ 東洋史 第08講 ～

【通常問題】地図のA～Lについての設問に答えなさい。(12問)

A：この王国のように港から発展した国家を漢字4字で何というか。

B：2世紀頃、この港で交易していた中部インドの王朝名を書け。

C：この町の名前を書きなさい(ある王国の首都となった)。

D：この都市周辺の遺跡と関係の薄いモノを2つ選びなさい(完答)。

あ：上座部仏教    い：ヒンドゥー教    う：古マタラム王国

え：シャイレンドラ朝    お：ラーム＝カムヘーン王

E：唐の玄宗時代に初めてこの港に設置された役所名を漢字で書け。

F：この地域に前4世紀頃に繁栄した文化名を書け。

G：この地域に流れる大河名を書け。

H：この地域と関係の薄いモノを1つ選びなさい。

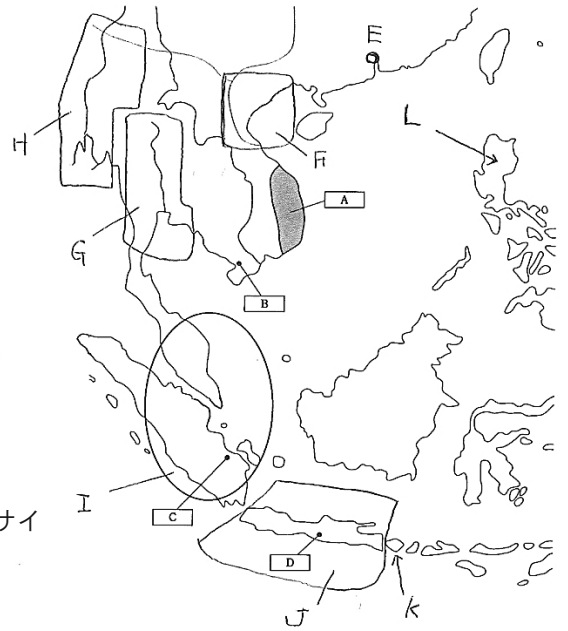
あ：モン人    い：ペグー    う：ピュー    え：サムドラ＝パサイ

お：イギリスの植民地化

I：7世紀にこの地域を訪問した唐僧の代表著書を漢字で書きなさい。

K・L：それぞれの島の現在の宗教名を書きなさい。

設問：右の写真を建設した国王名を書きなさい。



【位置問題】次に説明されている4つの王朝名を書き、その位置(F・G・H・I・J)を地図から選びなさい。

(すべてが同時代の王朝とは限らない)(8問)

①：11～13世紀、この地域初の統一王朝、元の侵入を受けて衰退し後に滅亡

②：13世紀、元のフビライを撃退、字喃を作成

③：14～18世紀、山田長政が頭領となり、日本人町が繁栄、コンバウン朝に滅ぼされる

④：14～16世紀、イスラーム教へ改宗、鄭和の南海遠征の拠点、ポルトガルにより滅亡

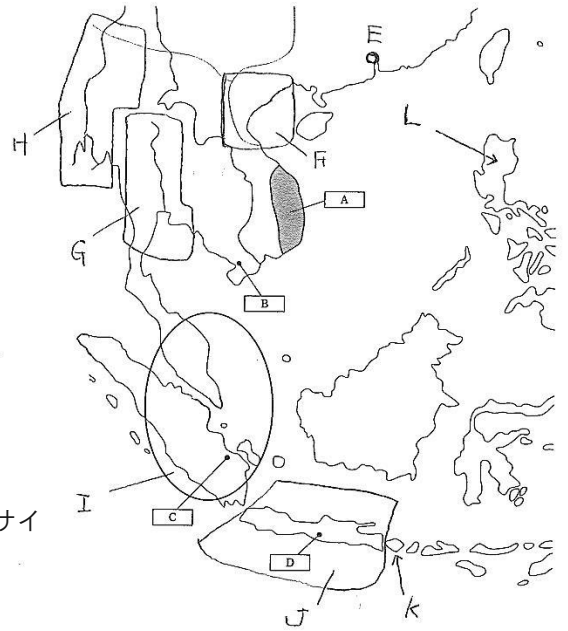
A		B		C		D	
E		F		G		H	
I		K		L		設問	
①地		王朝		②地		王朝	
③地		王朝		④地		王朝	

# 2018年度版 詳説世界史講義 復習テスト（解答）

～ 東洋史 第08講 ～

【通常問題】地図のA～Lについての設問に答えなさい。（12問）

- A：この王国のように港から発展した国家を何というか。  
 B：2世紀頃、この港で交易していたインドの王朝名を書け。  
 C：この町の名前を書きなさい。  
 D：この都市周辺の遺跡と関係の薄いモノを2つ選びなさい（完答）。  
 あ：上座部仏教    い：ヒンドゥー教    う：古マタラム王国  
 え：シャイレンドラ朝    お：ラーム＝カムヘーン王  
 E：唐の玄宗時代に初めてこの港に設置された役所名を漢字で書け。  
 F：この地域に前4世紀頃に繁栄した文化名を書け。  
 G：この地域に流れる大河名を書け。  
 H：この地域と関係の薄いモノを1つ選びなさい。  
 あ：モン人    い：ペグー    う：ピュー    え：サムドラ＝パサイ  
 お：イギリスの植民地化  
 I：7世紀にこの地域を訪問した唐僧の代表著書を漢字で書きなさい。  
 K・L：それぞれの島の現在の宗教名を書きなさい。  
 設問：右の写真を建設した国王名を書きなさい。



【位置問題】次に説明されている4つの王朝名を書き、その位置（F・G・H・I・J）を地図から選びなさい。

（すべてが同時代の王朝とは限らない）

- ①：11～13世紀、この地域初の統一王朝、元の侵入を受けて衰退し後に滅亡
- ②：13世紀、元のフビライを撃退、字喃を作成
- ③：14～18世紀、山田長政が頭領となり、日本人町が繁栄、コンバウン朝に滅ぼされる
- ④：14～16世紀、イスラーム教へ改宗、鄭和の南海遠征の拠点、ポルトガルにより滅亡

A	港市国家	B	サータヴァーハナ朝	C	パレンバン	D	あ・お
E	市舶司	F	ドンソン文化	G	チャオプラヤ川	H	え
I	『南海寄帰内法伝』	K	ヒンドゥー教	L	カトリック（キリスト教）	設問	スールヤヴァルマン2世
①地	H	王朝	パガン朝	②地	F	王朝	陳朝
③地	G	王朝	アユタヤ朝	④地	I	王朝	マラッカ王国